

# 昌子の広場

## 第81報

### 小林昌子議会情報

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel(Fax) 0725-54-2626

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@ybb.ne.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

yahoo の小林昌子で検索出来ます



**榎尾川ダム本体着工凍結へ  
大阪府立弥生文化博物館廃止と  
その影響**

目次

- ・榎尾川ダム本体着工凍結へ P1-2
- ・大阪府立弥生文化博物館廃止とその影響 P3
- ・昌子の広場 P4

## 榎尾川ダム本体工事凍結へ！ 凍結から中止に追い込もう

この度大阪府の財政再建 PT より財政再建プログラムの試案が示されました。これをもとに議論を行い現在一部の予算に留まっている平成 20 年度予算に反映し、全体予算を策定するものです。

この試案の中に私たちが強く主張してきました榎尾川ダムの本年度本体着工を凍結する内容が含まれていました。この凍結とは今年の着工延期に留まるもので、計画の中止を決めたものではありません。しかしながら、大阪府の財政再建計画は H20 年度から H28 年度まで総額 6500 億円の歳出削減計画であり、H20 年度はその初年度として 1100 億円を削減するものです。従って来年度以降も継続して削減をしなければならず、今年凍結して来年度に復活することはこの計画の主旨からしてあり得ないことで、実質的に榎尾川ダム計画は中止と考えても良いと思います。これからも継続して運動を続け確実に中止に向けて頑張ります。

### 橋下知事現地視察

橋下知事が榎尾川ダムを現地視察されました。私たちが知事選で提出した公開質問状では現地視察を約

束され、更に当選後の 3 月 7 日に提出した榎尾川ダム計画の見直しについての要望書の回答にも沿ったもので、知事の真摯な対応を評価します。

当日は榎尾川ダムの見直しを求める連絡会メンバー等がダム計画の反対の意思表示のため、プラカードを持って現地を訪れ、知事に対しこの計画の問題を訴えました。一方賛成派住民等も参集し早期着工を知事に訴えていました。(下はその模様を伝える朝日新聞記事)

私は、大阪府の関係職員が知事に「榎尾川の洪水対策は 100 年対応として計画されたもの」と説明したのに、「それは誤りです。ダムは 100 年対応、時間雨量 86.9mm に対応したのですが、河川は 50mm 対応です」と思わず声をあげて訂正してしまいました。



08.4.7 青鉛筆

▽ダムは 82 年の台風ではんらんした榎尾川の治水用に計画されている。総事業費 128 億円で今年度には本体工事に着工する予定だが、見直し対象に含まれている。

▽「治水効果は低い」「家が水につかった身にもなれ」。両派の勢いに橋下知事が割って入る場面も。一刀両断が持ち味の知事も「公平に判断したい」と明言を避けた。

08.4.7 青鉛筆

▽ゼロベースで事業見直しを進める大阪府の橋下徹知事が 6 日、同府和泉市のダム計画地を視察したところ、推進と反対両派の住民に囲まれ、一時騒然となった II 写真。



## 大阪府(ダム砂防課)にダム計画の見直しを求めました

私たちは、4月23日(水)、大阪府に対し、このダム計画の問題点を再度認識いただき、知事に対し正確な情報を提供頂くよう専門家として京都大学名誉教授の今本先生、市大名誉教授の高田先生、そして農業利水が専門の府立大学名誉教授の3名の方に参加いただき面会しました。当日は多くの方から頂いた6347筆のダム計画の見直しを求める署名も提出しました。当日私たちが主張したダム計画の問題点の主要な点は以下の内容です。市民の皆様も一緒にこの問題をお考え下さい。



### < 槇尾川ダムの問題点 >

流域面積が槇尾川流域の6%に過ぎない

ダムが受け持つ面積は全体の6%に過ぎません。このことはこの流域に大雨が降ったときにしかダムの効果はありません。それ以外の場所に大雨が降った時はダムは全くなんの役にもたちません。

ダムがあっても洪水は防げない

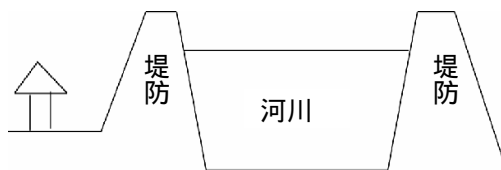
仮に、ダムの流域も含め全域に100年に一度の大雨が降ったときに、ダムがあれば洪水は起こらないのでしょうか。そうではないのです。ダムがあっても洪水は起こります。

(単位 Ha)

		ダムなし	ダムあり	効果
全域	床下浸水	548.6	538.7	9.9
	床上浸水	382.9	359.6	23.3
大川橋上流	床下浸水	9.9	0	9.9
	床上浸水	9.9	0	9.9

上の表のように、確かに大川橋より上流についてはダムの直接効果がありますが、それ以外の流域についての効果は3%程度に過ぎません。ダムに過大な期待を持ってはいけません。

槇尾川は洪水被害が起こりにくい



上の図は淀川の河川の模式図です。このような河川は堤防が決壊すると壊滅的な被害が出ます。しかし槇尾川は殆どの住宅は堤防と同じレベルかもしくは上に位置します。従って仮に水位が上がって堤防を越えても、被害は淀川などと比べて軽くて済みます。

淀川水系流域委員会がダム建設を否定折しも、淀川水系流域委員会がダム建設が不適切との意見を取りまとめました。私も当日(4/22)会議を傍聴しましたが、激論の末この意見となったものです。国はこの意見を真摯に受け止め、河川整備計画に活かして貰いたいと思います。

淀川流域委員会がダム建設を否定(朝日新聞)



### 槇尾川ダム計画とは



槇尾川ダムは槇尾川上流に位置し、ダムの高さ43m、総貯水量140万トンの治水を目的としたダムです。100年に一度の雨に対応して作られ

るもので、総事業費は128億円で既に用地買収や付け替え道路の建設に35億円が投入されています。残る事業費は93億円でそのうち府の負担は約半分の46億円です。

用地買収は92%完了、付替道路は約30%の進捗で、本年ダム本体着工の予定(今回凍結見込)でH3年度から事業を開始し既に16年経過するも本体工事には至っていません。



## 大阪府立弥生文化博物館が廃止の方向

同じく財政再建計画で和泉市池上町にあります大阪府立弥生自然博物館の廃止が提案されています。この博物館は近隣する池上曽根遺跡と連携して、弥生時代の文化を広く住民に発信する場として毎年4万人以上の多くの方が利用されてきたもので、これが廃止されるのは極めて残念な事です。池上曽根遺跡関連展示品は周辺施設との一体的に運営することが望ましいとして、市への移管を検討するとしていますので、市にも何らかの関係が生じることになります。

弥生文化博物館横の土地どうなる

弥生文化博物館横の土地とは下の図の場所です。現在この場所は弥生文化博物館の臨時駐車場として利



用されている場所です。

ところがこの土地は曰く付きの土地で、大阪府が池上曽根遺跡周辺からの出土品を集めて池上曽根遺跡研究センター(仮称)建設の用地として取得したものです。しかし大阪府は財政上の問題から直ちに取得できないことから、和泉市と協議し将来(H12年度)買い戻す前提で、和泉市が市の土地開発公社にH9年に先行取得させた土地です。

ところがその後大阪府の財政状態が土地を取得した時代から大きく悪化したため、現在においてもこの土地を買い上げることが出来ず、市の土地開発公社の塩漬け土地となっています。買い上げが出来ず、この間に地価の下落で評価損は一気に膨らみ、現在5億円にも上る評価損を抱える不良資産となっています。

大阪府はこれを買上げできない事から、その代償としてこの土地を大型バスの駐車場として利用し、市(土地開発公社)に賃料を払い続けています。

今回この弥生文化博物館が廃止されると当然賃料も市には入らなくなりますし、更に大阪府が買い上げる理由も無くなります。

又この土地を取得するに当たって大阪府と市は確認書なる物を交わしていたのですが、その中に大阪府が買い上げるときはその価格は時価とするとの項があります。従って大阪府が仮に買い上げを行っても先程の評価損は全て和泉市の損失になります。

又本来この土地を取得すべきであった否かも大きな疑問があります。池上曽根遺跡からの出土品の保管場所がないというのが取得の理由の主なものですが、当時から既に10年以上も経過していますが、出土品の保管場所がなくなり別途その場所を作ったという話も聞きませんし、そもそも池上曽根遺跡研究センター計画なる物自体が現在存在しない状態です。

地価が値下がりする中で利用計画も明確に無い状態で何故あわててこの土地を取得したのか?

大阪府の財政事情があったとはいえ、府の事業の土地を何故和泉市が先行取得したのか?

大阪府と和泉市の間で交わした確認書の存在を市が否定し、その後調べて見つかったとの理解できない行動

大阪府に代わって取得したのなら何故もっと強硬に買い上げを主張できないのか?

等々、この土地に関する疑問は今もって払拭されていません。私は司法の判断を仰ぐため住民訴訟を起こしました。平成18年9月です。それ以来口頭弁論を続けていましたが、5月の証人尋問をもって終結となりました。司法がどのような判断をするか注目します。

下は伝える朝日新聞記事です。



**光明池春木線が5月10日に全線開通**

和泉中央線から岸和田インターチェンジや国道170号線等に通過する交通量が、緑ヶ丘住宅地内の安全や静穏に大きな障害となっていました。この道路の開通で大幅に緩和される見込です。

5月10日10時から開通式の後、一般開放される予定です。



この道路です

**昌子の日記**

- 4/1 和泉中央駅会報配布
- 4/2 和泉府中駅会報配布、子どもサポーター会議、事務所運営委員会
- 4/3 和泉中央駅会報配布
- 4/4 石尾中学校入学式
- 4/5 榎尾川ダム見直しを求める連絡会臨時会
- 4/6 大東市選挙応援
- 4/7 和泉中央駅会報配布、緑ヶ丘小学校入学式
- 4/8 ごみ学習会 in 豊中、ダム定例会
- 4/9 淀川水系流域委員会傍聴
- 4/10-11 市議会議員セミナー in 大津
- 4/12 万葉講座
- 4/15 和泉中央駅会報配布
- 4/16 和泉中央駅会報配布、事務所運営委員会、グリーンカーテン作業、文化財裁判
- 4/17 ソロプチ定例会

4/18 榎尾川ダム流域調査 進む取付け道路工事



4/19 「救急医療の現状と対策」学習会

4/21 信太山駅会報配布、ソロプチ指名委員会



4/22 淀川水系流域委員会傍聴

4/23 榎尾川ダム記者会見、署名提出、府河川部との話し合い



4/24 厚生文教委員会視察 宗像市（小中一貫教育、総合市民センター）

4/25 同上視察 福岡市（学童保育）

4/26 脱ダムネット総会

4/27 「就業支援について」勉強会

4/29 NPO いずみの国の自然館クラブ総会

**<事務所行事> いずれも小林昌子事務所で**

連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626

事務所 TEL 0725-53-4451

(事務所 緑ヶ丘1-3-15)

**万葉講座(場所 緑ヶ丘自治会館にて)**

・講師 大高勇さん(犬養万葉顕彰会会員)

・会費 1,300円(3か月分) 14-16時

・62回 4/12 生駒山を恋ふる歌(済み)

・63回 5/11 万葉バスツアー(生駒、竜田の万葉歌碑を訪ねて)

**ちぎり絵**

・講師 西原志満子さん

・6月11日(水)13時~16時

・材料費実費 参加費無料

**パソコン講座(参加費無料)**

・第2、第4週の火曜10時から12時、

木曜14時~16時

・パソコンが初めての方もどうぞ遠慮なく、

初めてこられる方はご連絡下さい

**市政相談会**

・第2、4水曜日 20:~21:30